

## 空軍特殊作戦軍幹部 基地を視察訪問 *AFSOC leaders visit the Pacific*

January 18, 2018

By 1st Lt. Renee Douglas  
353rd Special Operations Group Public Affairs

1月9日から11日、空軍特殊作戦軍副司令官ビンス・ベックランド少将が第353特殊作戦群を訪れ、太平洋地域の特殊作戦任務の視察を行った。

今回の視察で空軍特殊作戦軍の幹部らは、空兵たちと交流し、任務説明を受けた他、米国インド太平洋軍管轄地域における主な課題の全体像を把握した。

空軍特殊作戦軍司令官付動員補佐官ジェイムズ・スキャンラン少将と同軍政治顧問ケン・ロイ氏が、ベックランド少将に同行。

一行は、まず最初に近日CV-22オスプレイを配備した第353特殊作戦群第1分遣隊を訪問するため、横田基地を訪問し、同分遣隊の職場、CV-22の格納庫や整備場を視察した。

横田基地を出発した後、一行は嘉手納基地へ向かった。嘉手納基地では、現在の運用及び第353特殊運用群配下の他の中隊について近況報告を受けた。嘉手納基地を発つ前に、ベックランド少将は第353特殊作戦群の部隊を集め、タイのタムルアン洞窟救出作戦に関わった第353特殊作戦群の隊員に48の人道支援章を授与した。

「第353特殊作戦群は戦略的に配置され、自由で開けた太平洋地域を維持するために重要な役割を担っている。正に君たちは使命を持ち、ここでの任務を任されている」とベックランド少将は述べた。

